

豊橋医療センター理念

私たちは、心のこもった 医療を提供します

豊橋医療センター基本方針

- 満足していただける医療を提供し、信頼される病院をめざします
- 基本的人権を尊重し、必要な情報を提供します
- たゆまぬ研鑽に努め、すべてにおいて良質で安全な医療を提供します
- 地域と連携し、患者さんご家族を支援します
- 安定した健全経営を維持するための努力と意識を持ち続けます



もくじ

副院長の挨拶	1
耳鼻咽喉科のご紹介	2
外来のご紹介	3
検査科だより	4
新型コロナウイルスワクチンについて	5~6
ご寄付	7
看護師募集	8
外来診療担当医表	裏表紙

まだまだ続くコロナ禍でも 共に頑張っていきましょう

副院長
佐藤 健



新型コロナウイルスパンデミックも1年半以上に及び、我々の心や日常に影を落としています。ワクチン普及に当院も取り組んでおり、幸い豊橋地区は地域医師会の先生方の頑張りもあり高齢者を中心に接種が進んできています。しかし変異ウイルスの登場など、夜明けはなかなか見えないように映ります。まだまだ油断せずに、基本的な感染防止に努めていきましょう。旅行や宴会などの楽しい行事はもう少し辛抱しましょう。

コロナ禍は日本の医療福祉だけでなく、政治経済教育などのあらゆる分野に打撃を与えました。従来の一般医療に制限がかかってきています。先日、Web開催された日本ホスピス緩和ケア協会年次大会に参加しましたが、昨年1年間で閉鎖または休棟されたホスピス・緩和ケア病棟は全体の1割に及ぶと公表されました。コロナ専用病棟を創る、一部転用するための場所、スタッフの移動、確保のために1割の病棟が閉鎖または休棟、転用されたということです。なんと1割のホスピスが消えたのです。全国ではこれらのベッド数分の緩和ケアを受けられない患者が困ったことになっていたわけです。これらのことは内科や外科などの一般病棟でも全国の各病院の都合で起こっていることだと推測されます。検査の延期、手術の延期、治療の変更等はかなりの数に及ぶと考えられます。またコロナ禍による精神不安や業務の負担により、退職する職員も全国で増えていると言われ、様々な角度で医療は打撃を受けています。つまりコロナ禍により全国の病院で一般の医療そのものの危機が進行していることを理解しておいて下さい。だからこそいち早く終息させなければならないのです。

コロナ禍で「医療者の皆さん頑張ってください」の激励の言葉をいただきます。とても嬉しく思います。しかし私たちは大きな不安を抱えながらも、忙しい業務をこなしながら前を向いて進んでいます。私たちにもコロナに対する恐怖感がありますが、それを克服する医学の知識と職員の団結で立ち向かっています。ですから一般市民の皆さんの方が大きな不安を抱えて孤独な日々を過ごされているのかもしれないとも考えます。私たちもワクチン接種により不安は軽減してきていますが、それでも院内感染を起こさないためにいつも神経を使っています。やはり皆さんに求めたいのは一人一人の自覚を持った行動です。自分が感染しない、感染させないという基本的な予防法を守ること、一人でも感染者を増やさない努力をお願いします。市民一人一人が節度ある行動をすることこそが、医療者を応援するという市民との連帯だと思えます。緊急事態宣言の発出や終了を繰り返していますが、私たち医療者の気持ちは1年中、緊急事態宣言の中で働いているつもりなのです。そこを理解し是非協力をお願いします。

医療センターの「心温かな医療」はコロナ禍でも、いつでも提供し続けたいと思っています。面会制限などで患者家族に寂しい思いをさせていることは申し訳なく思いますが、感染管理を前提とした「心温かな医療」実現のために辛抱することをご理解いただきたいと思います。愛する人を感染させないための我慢を、今だけはしてください。そうすれば夜明けはきっと近くなると思います。もう少し頑張っていきましょう。またいつまでも私たちと協力し合っていきましょう。私たちはいつも皆さんのそばに居たいと思っています。

耳鼻咽喉科

1. スタッフ構成

畔柳 久志 (平成17年3月～在職中)

山口 浩志 (平成24年1月～在職中)



2. 診療活動

当科では、耳鼻咽喉科領域の全般を常勤医2名で診療しています。

外来診療は月曜日から金曜日の毎日で、年間約5000名程度の患者さんを診察し、投薬や処置などを適宜組み合わせて、疾患ごとに最良と考えられる治療を施行しています。当科に来院される患者さんの疾患の特徴として、難聴・中耳炎・めまい・アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎が多くみられます。特殊外来として、毎週木曜日に予約制の補聴器外来があり、補聴器認定医・認定補聴器技能者が診察しています。

最近の特徴として、高齢化社会を反映してか、嚥下障害の患者さんが増加傾向にあり、当科でも嚥下内視鏡検査(VE)を施行し、嚥下機能評価を行い、必要に応じて言語聴覚士(ST)に依頼して嚥下リハビリをし、嚥下機能改善に努めています。

入院診療としては、年間約500名程度の入院患者さんで、帰宅困難なめまいやステロイド点滴治療を要する突発性難聴・顔面神経麻痺、経口摂取困難のために点滴加療を要する急性炎症性疾患(急性扁桃炎・扁桃周囲炎・扁桃周囲膿瘍など)が多いです。

手術加療については、入院手術は週1回で、外来手術を含め年間約50件程度(去年は新型コロナウイルス感染症の影響で半減)で、内視鏡下鼻副鼻腔手術や両側口蓋扁桃摘出術、ラリngoマイクロ手術や頭頸部腫瘍摘出術(顎下腺・耳下腺・甲状腺などの腫瘍)、不定期に気管切開術や頸部リンパ節生検術などを施行しています。外来手術として、鼓膜チューブ挿入術や鼻骨骨折整復術、異物摘出術(耳・鼻・咽頭)、唾石摘出術などがあります。

3. 研究活動

病診連携カンファランスなどで定期的に発表しています。

4. 今後の抱負

病診連携などをうまく生かして、地域医療へさらに貢献していきたいと思えます。

外来紹介

看護師長 廣瀬 公美

昨年から新型コロナウイルス感染症が広まり、当院でもマスク着用の徹底、手指消毒または手洗いの徹底、病院入り口での体温測定を行い院内感染防止に努めてきました。そして、2020年2月から「発熱外来」を設置し、発熱、咳や喉の痛みなど呼吸器症状のある患者様は他の患者様と待合場所や診察室を分け、安心して診療を受けて頂けるようにしています。

2021年6月より当院でも新型コロナワクチン接種が開始されました。安全かつ安心してワクチン接種を受けて頂けるよう、観察スペースに医師1名、看護師2名を配置し、アナフィラキシー症状発生時に備え、迅速に対応できるように接種体制を整えております。



外来では、今まで入院しないと行うことができなかった化学療法(抗がん剤治療)を、患者様の状態に合わせて外来でも行っています。仕事や家事・子育てとの両立などライフスタイルの変化に伴い、年々外来化学療法へのニーズの高まりを実感しています。現在、外来化学療法室は7床で稼働し、年間延べ1200件化学療法を行っています。看護師は思いやりの気持ちを忘れず、分かりやすい説明と対応を心がけ、安心して化学療法を受けて頂けるように努めています。また、薬剤師によるパンフレットを用いた薬剤指導、食欲不振や味覚障害が出現した患者様に対しては、管理栄養士が嗜好に合った食事



の選択や調理方法について情報提供を行っています。患者様が納得のいく治療ができるように、医師・看護師だけでなく専門的な知識・技術を持った多職種がチームで協力・連携して対応をしています。今後も医師をはじめ多職種と連携を密にし、患者様の診療が安全・安心・スムーズに行えるよう、一丸となって看護の提供に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためには地域の皆様のご協力が必須です。外来受診の際は、正しいマスクの着用、手指消毒と手洗いの徹底、待合室での飲食・マスクなしでの会話は控えて頂きますよう、改めてお願いいたします。ご不便、ご迷惑をおかけしますが、今後も「外来と地域」との継続看護を目指し、地域の皆様の健康に貢献できるように努力してまいります。

検査科だより

病理検査ってなに？

病理検査は、患者さんから採取した組織や細胞から病気をみつける検査です。内視鏡で胃や大腸の一部を採取した組織や、手術で摘出した臓器を検査する事を組織検査、婦人科検診や尿や腹水などの液状検体、病変部を細い針で刺して採取した細胞を検査する事を細胞検査といいます。

組織検査 ～採取された組織が、報告されるまで～

■標本作製

主に日本臨床検査技師会で認定された臨床検査技師(認定病理検査技師)が標本作製します。採取された組織を2日～1週間の時間をかけて処理をしたのち、約 $3\mu\text{m}$ の厚さに切りスライドガラスにのせて、目的に応じた染色をおこなって標本が出来上がります。

■組織診断

染色された標本は、病理医(病理専門医)といって標本を専門にみる医師によって組織診断がおこなわれ、担当医に報告されます。担当医は、報告された情報をもとに、患者さんの検査・治療方針を決定します。



細胞検査 ～採取された細胞が、報告されるまで～

■標本作製

採取された細胞は、顕微鏡で観察できるようにスライドガラスにのせて、臨床検査技師が染色をおこない、標本作製します。

■スクリーニング

標本はまず、日本臨床細胞学会で認定された臨床検査技師(細胞検査士)が、正常ではない細胞を探して(スクリーニング)、マーキングします。

■細胞診断

病理医(細胞診専門医)といって標本を専門にみる医師が、マーキングされた細胞を観察し、細胞診断がおこなわれ、担当医に報告されます。

担当医は報告された情報をもとに、患者さんの検査・治療方針を決定します。

新型コロナウイルス ワクチンについて

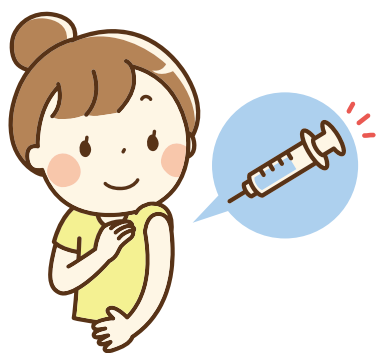
新型コロナウイルスにかからないようにするためのワクチン、
新型コロナウイルスワクチンについてご説明をします。



国立病院機構豊橋医療センター
病院長 恵美 宣彦

現在、ファイザー社製、モデルナ社製のmRNAワクチンが使用されています。共に大変効果のあるワクチンです。95%の抑制効果があるというのはどういうことでしょうか。例えば、一定人数のワクチンを打った人と、同じ数のワクチンを打っていない人を比較してみます。同じような環境で生活していたとします。その結果、ワクチンを打った人から新型コロナウイルスに感染した人が5名、打っていない人から感染者が100名出るくらいの差があります。この場合に、95%押さえ込んだということです。

これだけかからなくなるのなら、かなり安心ですね。しかし、5名は感染してしまうのですね。これはどういうことでしょうか。ウイルスに感染するかどうかは、暴露するウイルスの量とそれを抑える抗体で決まります。



ウイルスに接しなければもちろん新型コロナにはかかりません。でも偶然ウイルスを排出している人と話し合うことがあるかもしれません。その時のその人までの距離、換気などによって、吸い込むウイルスの量が変わってきます。ウイルス量が多いとそのまま鼻の粘膜から、細胞に達して感染する可能性があります。そうなったら、感染が成立するのでしょうか。まだ生体の防御があります。ワクチンを打って体にできた抗体がウイルスに接着して感染をブロックするのです。

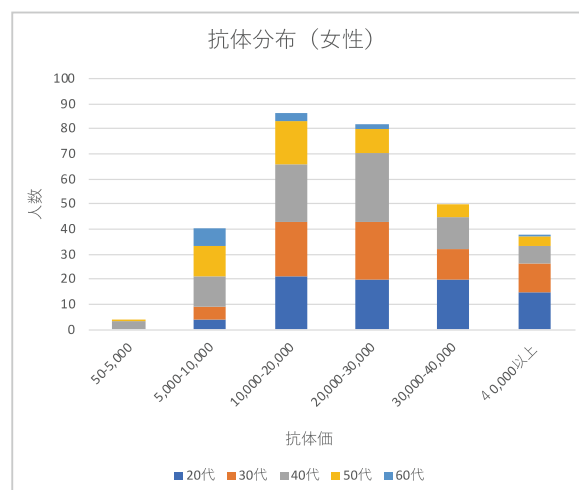
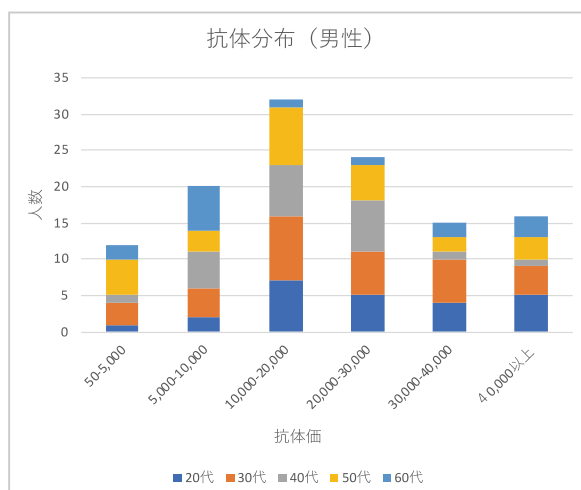
この中和抗体を体の中に作ることがワクチンの目的です。ワクチン後どれくらいの人に抗体ができるのでしょうか。当院で行った医療スタッフに対するワクチンの抗体産生効果をまとめてみました。

ワクチンによる抗体産生効果

抗体測定は、スパイク蛋白質S1サブユニット受容体結合ドメインに対するIgG型抗体を測定し、測定単位は、AU/mlで50AU/ml以上を陽性としました。

2回目のワクチン接種後2週間目に抗体量を測定したところ、新型コロナウイルスに対する抗体産生は、ワクチンを受けた全員100%に見られました。世代別抗体価の中央値は以下のようなようです。若い世代ほど抗体価は高く、同世代では女性の方が高い傾向がありました。30,000AU/ml以上の高い抗体価を示す群に若い世代が多い傾向がありました。

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
男性	25,434AU/ml	19,863AU/ml	14,297AU/ml	16,827AU/ml	9,208AU/ml
女性	29,034AU/ml	26,524AU/ml	22,798AU/ml	17,188AU/ml	9,197AU/ml



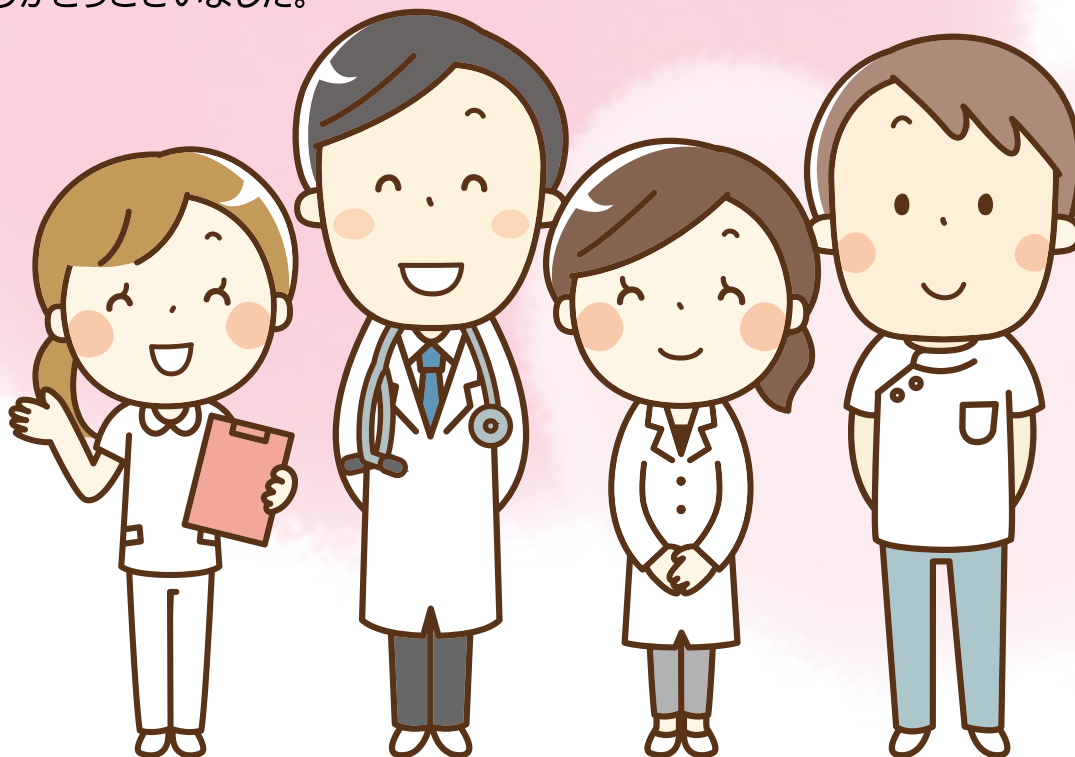
実際に新型コロナウイルスに感染した場合には、10日目前後から抗体価が検出され20-24日目にピークに達し、その後は徐々に減少して3-6ヶ月は維持されると考えられています。

新型コロナワクチンによって、体に抗体を産生できれば感染しにくくなると考えられます。ワクチンの副反応もありますので、ご本人の体調に合わせてワクチンを予約ください。

皆様からの温かいご支援に 感謝申し上げます

新型コロナウイルス感染者の発生者数が依然毎日報道される状況ではありますが、皆様からの温かい、多岐にわたるご支援をしていただき、病院スタッフ一同感謝を申し上げますとともに今後の地域医療へいっそうの貢献をしていきたいと思っております。

ご寄付いただきました品々につきましては、余すことなく活用させていただきます。ありがとうございました。



ご寄付をいただいた品々

- N95マスク ● 不織布ガウン
- アイソレーションガウン
- フェイスシールド
- 手指消毒用アルコール
- サージカルマスク
- KN95マスク ● チョコレート
- チョコレート菓子 ● 現金

ご寄付をいただいた 企業様等

- (有)エムケイ様 (豊橋市)
- アルデックス(株)様 (豊橋市)
- ふくい整形外科リウマチリハビリクリニック様 (豊橋市)
- ラ・トラビエサ(有)様 (豊橋市)
- 名糖産業(株)様 (名古屋市)
- 有楽製菓株式会社(豊橋夢工場)様 (豊橋市)
- 個人様3名 (豊橋市)

看護師募集!

豊橋医療センターは
思いやりのある看護を目指しています。
私たちと一緒に働きませんか。



当院は、東三河南部地域の基幹病院として、救急医療を始め「がん」「脳卒中」「心疾患」「緩和ケア」などに貢献しています。

看護としては、総合病院の強みとして、一人ひとりの希望に応じた活動場所があること、病棟全体で新人看護師をしっかりサポートする体制が整っています。看護師として成長、社会人としての生活の充実のために、いろいろな支援の制度を活用しながら、働きやすい職場になるよう努力しています。

処遇についてはお気軽に相談ください。病院見学も随時受け付けています。

豊橋医療センター 看護部長室
問い合わせ先 TEL : 0532(62)0301
メール : 314-nrdd@mail.hosp.go.jp

外来診療担当医表

令和3年9月1日～

※受付時間は、8:30～11:00(再診予約専用電話 0532-62-1087 平日13:00～15:00)

電話 0532-62-0301

曜日		月		火		水		木		金	
診療科	診察室	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	⑩ 第1	膠原病リウマチ内科 横井		一般内科 豊住		一般内科 豊住		一般内科 豊住		膠原病リウマチ内科 横井	
	⑩ 第2	腎臓 鳥山		一般内科 北澤		膠原病リウマチ内科 横井		腎臓 鳥山		一般内科・血液内科 恵美	
	⑩ 第3	一般内科・血液内科 恵美		第3火曜 武内		代謝・内分泌 濱田		第3水曜 総合内科			
				第2・4火曜 濱嶋		代謝・内分泌				14:00-15:00 肺炎球菌予防接種 (要予約)	
脳神経外科	⑭	初診、予約外 酒井秀		西村		初診のみ 交代制		酒井秀		初診、予約外 山内	
	⑮	山内		初診、予約外 松田				初診、予約外 松田		森嶋	
神経内科	⑮										
循環器科	⑯ 第1	花田		岡田		第1・2・5週 横家 横家		横家		横家	
	⑯ 第2					柴田理				後藤	
	⑯ ペースメーカー					第3・4週 横家					
心臓血管外科	⑰	第1・3・5月曜 10:00開始 鷲山									
		第2・4月曜 10:00開始 高橋									
整形外科	⑰ 第1	初診、病診連携 稲本		初診、病診連携 堀江				稲本		初診、病診連携 柴田康	
	⑱ 第2			予約制 柴田康		初診、病診連携 奥村		初診、病診連携 竹内		奥村	
	⑱ 第3			脊椎外来 藤田和		堀江		脊椎外来 藤田和		初診 上用	
眼科	⑲	予約のみ 鈴木啓		鈴木啓				検査のみ 清水 清水		清水	
耳鼻咽喉科	⑳	山口		山口		山口		山口		山口	
歯科口腔外科 (予約のみ)	㉒	湯浅		湯浅		湯浅		湯浅		湯浅	
精神科	㉓	鶴生				鶴生		杉浦		(心療内科) 鶴生	
外科	㉔ 第1	伊藤武		外科/消化器 越川 緩和ケア 佐藤		佐藤		山下		佐藤	
	㉔ 第2	大本		稲岡		伊藤武		青木		安藤	
	㉔ 第3			10:00開始 安藤		外科/消化器 市原					
	㉔ 第4									乳腺外来 後藤	
消化器科	㉕	交代制		交代制						交代制	
呼吸器外科	㉖										
呼吸器科	㉗	呼吸器/禁煙 長谷川						笠原			
産婦人科	㉘	杉原		杉原		交代制		杉原		杉原	
泌尿器科	㉙			日下				友澤			
皮膚科	㉚	予約のみ 羽根				白田		予約のみ 滝			
小児科	㉛ 第1	慢性疾患のみ 西田 鈴木清		鈴木清		慢性疾患のみ 西田 西田		慢性疾患のみ 鈴木清 西田		慢性疾患のみ 西田 鈴木清	
	㉛	13:30-14:30 予防接種 (要予約)		13:30-14:30 乳児検診 (要予約)							
放射線科	㉜			放射線治療 水野							